

研究課題名	胃癌/食道胃接合部癌患者に対する治療の効果に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	胃癌/食道胃接合部癌に対する治療は手術治療が中心です。手術治療には大きく分けて低侵襲手術（傷の小さな手術）と古典的な開腹手術があります。手術の方法が異なれば手術の成績も変わることがあります。手術に使用する利用機器は日進月歩で進化しており、その結果これまでも治療成績は向上してきました。当院は積極的にロボット支援手術を行っており、その手術成績を収集し、評価する事が今後の胃癌治療の発展に寄与するものと考えております。 また同様に抗がん剤も日々進歩しております。当院における化学療法（抗がん剤）による治療効果を評価する事が必要であり、患者様にとって有用であると考えられます。
研究対象者	ベルランド総合病院で胃癌もしくは食道胃接合部癌と診断された患者様
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、性別、胃癌診断日、手術の有無、病理組織結果、ヘモグロビン値、PS（performance status）※、カルシウム値、血小板値、好中球数、発症から転移までの期間、治療開始日、転移の部位、 手術・薬剤導入時の経過：身長、体重、内臓転移の有無、骨転移の有無、リンパ節転移の有無、脳転移の有無、合併症、疼痛・鎮痛薬使用の有無 薬剤導入後の経過：薬剤の投与量、休薬有無、減量有無、画像評価、転帰確認 血液検査：血算、白血球数、AST、ALT、血清クレアチニン、eGFR、LDH 画像検査：胸部 X 線、CT、MRI 手術動画 有害事象：治療中に起きた医療的に好ましくない事（薬剤の副作用など） 術後経過に関する事項：ドレーン排液の検査結果、食事の有無、入院期間、合併症の有無 （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 外科 氏名：福田進太郎
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先まで 2026 年 12 月 31 日までにお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問合せ先	ベルランド総合病院 外科 氏名：福田進太郎 メールアドレス：sh_fukuda@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）
-------	---